

(学校運営協議会・報告様式)

令和8年度 第1回 玉垣小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和8年5月28日(木) 16:00 ~ 16:45

2 場 所 図書室

3 あいさつ(学校長、委員長)

【委員長】

今年も委員長をさせていただく。よろしくお願いします。先日、コミュニティスクールについての勉強会があった。考えなくてはいけないことは鈴鹿市内のどの学校でも同じ。同じ課題がある。地域の子を地域で見えていくことが大切。様子を見ているだけで抑止力となることもある。見守りを続けていきたい。協力をお願いします。

【校長】

校長着任2年目を迎えた。これから一年間、玉垣小学校の子どもたちに対して、何ができるか、どのように課題解決ができるか地域の方々と考えていきたい。子どもたちの様子や課題について、地域からお声をいただくことがある。子どもたちに対して、立ち止まったり注意したりする大人がいないと、子どもたちがうまく判断できないことがある。見たときに声をかけていくことが大切。みんなで子どもたちを見守り、注意だけでなく、良かったことは褒め認める声かけを行っていきたい。

学校では「アロハ」の取組を進めている。「アロハ」の「あ」はあいさつの「あ」。子どもたちにも呼びかけて、あいさつが増えるように取組をすすめたい。よろしくお願いします。

4 協議内容

(1) 令和8年度学校経営方針(承認)

資料提案(校長)

- ・学校教育目標について
- ・学力・授業改善、教科担任制による指導
- ・組織的な生活指導・生徒指導について
- ・職員の資質向上について
- ・特別支援教育・不登校児童への対応について
- ・働き方改革について
- ・すべての子が安心して学べるための10か条について 等

(2) 令和8年度学校関係者評価(承認)

資料提案(校長) 本年度の活動、主な手立てと指標について

【委員から】

- ・令和8年度の不登校の状況はどうか。

- (校長)やや増えている ほっとルームの利用者はやや減っている。
- ・学校に行きにくい児童がいる家庭とのコミュニケーションはどうか。
 - (校長)個々の家庭状況に合わせて対応している。理由が様々なため、保護者と連絡を取り合ったり、スクールカウンセラーや教育委員会の関係機関と連携したりして進めている。
- ・不登校に対応する専門機関にはどんなものがあるか
 - (校長)鈴鹿市に「けやき教室」「さつき教室」ある。また、白子にある「ほーむベ－す」のほか、民間の機関もある。
- ・保護者アンケートに回答する際、子どもたちの状況がわからないことがある。本当にわかりやすい授業かどうかは保護者には伝わりにくいため、保護者にとって回答が難しい。そのため、指標となる割合が示されているが本当に指標となりうるか心配。子どもも家で状況を話さない場合もあるため状況をつかみにくい。授業参観などでは、プロジェクターを使っていることなど、保護者にとっては新鮮に感じることがあるが、それがどう発展しているか、変化しているかが保護者にはつかみにくい。

(3) 令和8年度学校配当予算(承認)

資料提案(校長)

(4) 令和8年度年間行事計画

資料提案(校長)

【委員から】

- ・水泳指導、どう指導しているか
 - (校長)プールの大きさに対して人数が多いので、全員が一度に入水することは難しい。低学年は水に親しむことから。中学年からは泳力を高める練習をする。
- (5) 意見交換
 - ・京都で子どもが被害者となる事件があった。欠席の連絡がない場合の対応は？
 - (校長)日々の欠席はテトルを使って連絡が来る。連絡なしで登校していない児童の情報は職員室に連絡が入り、職員により保護者に確認をとっている。
 - ・児童のSNS利用。正しい使い方については、指導していただきたい。フェイク画像、画像の拡散なども問題になっている。いじめにつながる可能性もある。
 - (校長)情報モラル教育をしっかりやっていかないといけない。教職員も生成AI使用を経験するなど、対応を進めていく必要がある。
 - ・コミュニケーション手段はたくさんあるが、学校は、対面で、人と人がつながる場であってほしい。うまく伝わらないなど難しさがあるが、直接声をかけ合うことが大切。
 - ・通学の安全を確保する必要がある。安全な歩き方などの指導もあわせて行う必要がある。学校だよりなどでも啓発を。
 - ・今年度、遠足をペア学年で実施したと聞いている。実施後、通学班の状況を見てみると、6年生が1年生に対して優しくなったように感じる。声のかけ方も変わった。良い変化があったと感じる。